テロリストに襲われホームレスからの大逆転「直せないパソコンを探し続ける」

ユニーク企業代表スペシャルインタビュー

今回は、波乱に満ちた人生を送ってきたピーシーエキスパートの代表取締役森田達也氏に話を聞いた。最近では、サブリメントや健康食品工場も設備用コンピュータの修理や延命以来が増えているという。

森田社長のプロフィール

株式会社ピーシーエキスパート　代表取締役
https://pc-otasuke.jp/　https://pc-expert.jp/
1973年生まれ・千葉県我孫子市育ち　45歳
体内年齢30歳、血管年齢26歳、糖化年齢30歳、筋肉年齢28歳
トライアスロン歴26年
早稲田大学理工学部卒業

＜メディア実績＞
https://pc-expert.jp/blog/media/
https://onlystory.co.jp/stories/1422

――森田社長が今の仕事を選んだきっかけは？

森田　前職のケニアでの中古車輸入販売で成功したのですが、ある日テロリストに遭遇し身ぐるみはがされました。その後、開放されたのですがすべてを奪われた為、帰国後ホームレスに転落し、生活する為に関いたのが無店舗の「パソコン出張修理」でした。

――大変な経験をされましたね。ところでトライアスロンを始めたきっかけは？

森田　子供のころから運動音痴でしたが、自転車と水泳は人並みにできたので、トライアスロンをやれば女の子にモテるかもと思い始めました。現在では、パラトライアスロンワールドカップ代表選手のガイドを務めるほどになりました。

――トライアスロンもプロ並みですね。(笑)修理で他社との違いを教えて下さい。

森田　他社では断られる難しい修理や悩みを解決します。例えば、20年前のコンピュータの修理や延命を得意としております。(工場などではコンピューターを新しくすると設備もすべて変えなければいけない為、古いOSのまま延命することが多い)個人のPCはもちろん、最近では、工場などの産業用コンピューターの延命修理などが多くなっており、「ヒトが作ったものなのだから直せないものはない」を信条としています。

――社長がご自分の健康に気を付けていることがあれば教えてください。

森田　①炭水化物を採りすぎず、運動後はタンパク質を多く採ることを意識している。② 22時半には寝るようにしている。(早寝早起き)③夜はお菓子を食べない。④耳に悪いのでヘッドホンは使わない。⑤夜スマホはできるだけ見ない(興奮して眠りが浅くなる)⑥食事直後には入浴しない(消化に悪い)⑦冷たい牛乳をがぶ飲みしない。⑧おなかの調子が悪いときには風呂に入っておなかを温める。⑨風呂でニュースを見る(長時間入浴)⑩トライアスロントレーニングをするときはできるだけ日焼け止めを塗る。⑪鉄分・ビタミン、ナイアシンが不足しているのでサプリメントで補っている。⑫運動後15分以内にタンパク質を採るようにしている。⑬動物性たんぱく質より、植物性たんぱく質を採るようにしている。(納豆・豆腐など)⑭週一回は鍼治療、睡眠時間は6時間はとるように努力している。⑮14時以降は昼寝をしないようにしている。(夜の眠りが浅くなるため)⑯運動直後に昼寝を意識的にしている。⑰飲み会では、揚げ物などの脂っこいものを食べずに、野菜を採るように意識している。⑱日ごろからモーツァルトの曲を聴くようにしている。⑲タバコの煙を吸わないように、喫茶店は完全分煙のお店のみ。

――今後の目標等あれば教えてください。(仕事も健康も含め)

森田　仕事、Made in Japanにかかわる古い町工場の生産設備(工作機械、電子顕微鏡など)は老朽化しており、特にコンピュータ部分が故障したら、設備入替が一般的で莫大な費用がかかり経営を圧迫している。コンピュータを延命修理することで、低コストで設備を延命して古い町工場を救いたいですね。健康、プライベートでは100歳までトライアスロンを続けたいと思います！

――OFFの過ごし方は？

森田　自宅のオーディオルームで部屋を暗くしてクラシックを聴いています。

――最後に社長のモットーや座右の銘があれば教えてください。

森田　「やってみなきゃわからない、まずはやってみよう！」

「継続は力なり」

――本日はありがとうございます。中小企業にとってはありがたい情報です。

メディアに紹介された記事の一部▼

今年の1月8日に紹介された「アンケイスポーツ」より

昨年の12月27日に紹介された「スポーツ報知」より